

ご来場ゲスト



岡田茉莉子さん 俳優 「秋日和」
 中井貴恵さん 俳優 音語り「秋刀魚の味」
 澤登翠さん 活動写真弁士 「出来ごころ」
 兼松熙太郎監督 「小津を語る」
 「ロイドの要人無用」



三好大輔監督 「目の見えない白鳥さん、アートに行く」
 川内育緒監督 「目の見えない白鳥さん、アートを見に行く」
 川村元気監督 「百花」
 前田直樹監督 「マリッジカウンセラー」



長井秀行さん 小津監督の甥 「搜索者」
 古本恭一監督 「シュナイドマンの憂鬱」

ゲスト交渉中のため、ゲストが追加になる可能性もあります！最新情報は公式HPをチェック！



小津安二郎映画を聞く
 音語り「秋刀魚の味」

●小津安二郎・山内静夫を語る
 ●音語り 中井貴恵さん(朗読) 松本峰明さん(ピアノ)

10月1日(日)13時00分
 茅野市民館 コンサートホール
 特別鑑賞券2000円

※映画鑑賞用のチケットとは別チケットとなります。

第22回 短編映画コンクール

今年は111作品もの応募をいただき、次世代を担う若き監督たちに感謝申し上げます。その中より、短編特別審査員・審査員長によりグランプリ作品が選ばれます。

9月30日(土) 新星劇場にて
 13:00～ 入選作品上映
 15:50頃～ 表彰式

無料

短編審査員長 伊藤俊也監督
 短編特別審査員 工藤雅典監督 椿原久平監督 富永憲治監督 鈴木元監督
 上映スケジュールはホームページ・SNS等でお知らせします。

短編映画コンクール入選作品 (五十音順)

ありふれた風景 ショートバージョン

人見 健太郎
 家出同然で上京したゆうきは、ジュエリーデザイナーの修行をしているが、未だにアシスタント、4年振りの帰郷で見たものは「ありふれた風景」だったが、久しぶりに目にする両親に時の流れを感じる…

人類最後の日

山後 勝英
 太陽が異様な姿になり、地球上のあらゆる生物が結晶化する原因不明の現象に人類は生き残りをかけて移住を試みるが…。最後を迎えたサラリーマン2人は、胸にしまっていた親愛を告白していく…

回復タイム

山口 智誠
 会員の飯田早苗は、仕事で上手くいかない様子。会社から少し離れた公園で母親と電話をしていると、傷だらけのおじさん辰巳エンジ(演 浅見祐至)が今にも倒れそうな感じでやってくる。

たまには蜂蜜を。

邊 拓耶
 台所に朝日が差し込み、やかんからでる湯気が冬を再確認させるいつもの朝…そこへ3年ぶりに夢を追いかけて出た弟が帰ってくる。昔かに見守ってきた兄。そんな家族を愛で包み込んでいた母、それぞれの想いがぶつかる。

幽かな光

山本 善博
 山田光莉は霊感が強く、心靈写真が撮りたくて写真部に入ったのだが、事故で亡くなった訳渡先輩は自分のせいと思った山田は、訳渡がやり残したことを叶えるため、様々な写真を撮り始める。

つくもさん

鹿野 洋平
 生粋の落語マニアのおじさん・つくもが、まるで落語のような修羅場に巻き込まれたら？ 登場人物たちの関係性がみるみる変わっていく、真夏の不協和音をお楽しみください。

雫に濁る

坂本 保範
 古い館でひとり、誰かの帰りを待つ初老の女「たけなほ」は50年前に自分をかばって亡くなった幼い姉だった。一年、若い姉と幼い姉という不思議な構図の中で繰り広げられる心温まるファンタジー作品。

本社から来た男

新谷 寛行
 本屋アルバイトの多田は出勤前にご飯を食べようと控室に入ると見知らぬ老人がいた。その男は本社から来た男と名乗るのだが…

社畜THEメタルファイヤー

田邊 馨
 過酷な労働環境で働く3人の社畜の物語。有給なし、残業あり、賃金低め、パワハラ、モラハラ当たり前。その3人が突如、弱小音楽レーベルにスカウトされバンドを結成。ステージで彼らは大暴れる。

優しいインコが暮らす街

門田 樹
 遠藤は友人に奇妙な頼み事をする。それは「明日の夜、電話に出て自分の話をただ聞いてほしい」というもの。

小津安二郎生誕120年
 生誕120年にふさわしく、小津安二郎、野田高梧に関する蓼科らしい企画、小津監督が一貫して描き続けた「家族」をテーマにした上映を行います。特別企画についてはリニューアルした当映画祭HPをご覧ください。



蓼科と野田高梧・小津安二郎

2023年 開催日 9/23(土) ▶ 10/1(日)
 第26回 小津安二郎記念 蓼科高原映画祭

実行委員会事務局／茅野市役所 観光課
 〒391-8501 長野県茅野市塚原2-6-1
 TEL.0266-72-2101 FAX.0266-72-5833
 最新情報はホームページで 蓼科高原映画祭 検索

